

# 地域における 心不全ケア啓発プロジェクト

南部 路治 ●一般社団法人しなさきリハビリサポート協会 代表理事



地域事業所に従事する多職種を対象とした地域セミナー

護師、理学療法士、管理栄養士、薬剤師などの専門家が関わり、事務所スタッフや代表南部が主導し、効果的なプログラムを構築する。

対象者への啓発セミナーと個別カウンセリングを実施し、医療・介護従事者が地域における心不全ケアについてより専門的な知識とスキルを身につけることを目指す。また、地域のニーズに合わせた内容や手法を適切に提供し、効果的なケアの実現に努める。

## 1. 背景と目的

沖縄県の高齢者比率は今後ますます高くなることが予想され、循環器疾患の発症率も増加していく。特に心不全は重篤な問題であり、地域・在宅における心不全管理のニーズは増加し、通院が困難な方や家庭内でのケアが必要な方に対する支援が求められる。その治療やケアには高度な医療リソースが必要である。

このプロジェクトは、沖縄県内の医療・介護従事者に心臓リハビリテーションの知識を提供し、心不全ケアの重要性や最新の治療法などについて啓発することが目的である。

## 2. 取り組みの方法

医療・介護事業所に従事する専門職を対象にし、特に医療資源の乏しい地域を重点的にカバーする。

地域セミナーと在宅訪問と個別カウンセリングを組み合わせ、心臓リハビリテーションの専門知識や技術を提供する。医師、看

助成終了後も、セミナーやカウンセリングの継続実施や、心不全在宅ケアネットワークの構築と維持、さらにはボランティア養成プログラムの実施など、地域の健康増進とQOL向上に向けた活動を継続して展開する。

## 3. 期待される成果

心不全の早期発見により、患者の生活の質を向上させることが期待される。患者自身が病状を理解し、自己管理できるよう啓発することで、再入院率の低減が期待される。医療・介護・福祉の連携を強化し、地域全体でのケア体制を充実させることが期待される。

沖縄の文化や風土に配慮した啓発活動を行い、定期的な評価と改善を通じて、地域住民に密着した支援を提供する。